

2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社イメージ・マジック 上場取引所 東
コード番号 7793 URL https://imagemagic.jp
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山川 誠
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）栗原 俊幸 TEL 03(6825)7510
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 有

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	3,384	—	136	—	146	—	95	—
2023年12月期中間期	3,286	23.7	294	708.4	293	709.8	193	780.9

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	41.33	38.07
2023年12月期中間期	83.84	77.32

（注）当社は、前事業年度より決算日を4月30日から12月31日に変更しております。決算期変更の経過期間となる前中間会計期間は、2023年5月1日から2023年10月31日を対象期間とする決算としております。このため、2024年12月期中間期の対中間期増減率は記載していません。

（2）財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
2024年12月期中間期	2,855	—	1,631	—	57.1
2023年12月期	2,685	—	1,534	—	57.1

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 1,631百万円 2023年12月期 1,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,540	—	150	—	148	—	92	—	39.76

（注1）当社は2023年7月28日開催の第28期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認され、前事業年度より決算期を4月末日から12月末日に変更しました。決算期変更の経過期間となる2023年12月期は2023年5月1日から2023年12月31日の8ヵ月決算となるため、通期の対前期増減率を記載していません。

（注2）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 中間財務諸表及び主な注記 (4) 中間財務諸表に関する注記事項 (中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	2,315,024株	2023年12月期	2,313,671株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	56株	2023年12月期	56株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	2,314,750株	2023年12月期中間期	2,312,897株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	5
中間会計期間	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は、2023年7月28日に開催された第28期定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、前事業年度より決算期を4月30日から12月31日に変更しております。これに伴い、その経過期間となる前中間会計期間は、2023年5月1日から2023年10月31日となっております。このため、比較情報については記載しておりません。

当社は、「個性と創造性溢れる豊かな社会作りに貢献します。」を経営理念として、システムを活用したモノづくりのDX会社として事業を展開しております。

当社の展開するサービス内容としては、インターネットを利用して行うアパレルや雑貨を主とした商品へのオンデマンドプリントサービス、及びオンデマンドプリントの仕組みであるソフトウェアやハードウェアをアパレルメーカー、印刷会社などの事業者へ提供するソリューションサービスであります。これらの実現のために、小ロット受注に対応したソフトウェアと、システムで制御できるハードウェアの開発を進め、ワークフローのDX化を推進しております。また、地球環境に対する負荷の低減に向けて、SDGsへの意識が高まるなか、当社も環境に配慮したモノづくりで社会に貢献できるよう努めております。

当社の属するオンデマンドプリント業界におきましては、コロナ禍を契機として人々の生活様式の変化が加速し、オンラインの消費活動が定着したことにより衣料・服飾雑貨及び生活雑貨等のEC市場は急成長を遂げ、その市場規模の拡大が続いております。

このような環境の中、オンデマンドプリントサービスでは、様々な顧客ニーズに対応し、オンデマンド生産できるアイテムを拡充すべく新商品の取扱いを強化し、自社ECサイトの「オリジナルプリント.jp」が好調に推移しました。ソリューションサービスではハードウェアのオンデマンド転写プリンター「Trans Jet」の消耗品売上高が好調を維持しました。

当中間会計期間において、オンデマンドプリントサービスの売上高は3,090,535千円となりました。

また、ソリューションサービスの売上高は294,344千円となりました。

以上の結果、当中間会計期間の売上高は3,384,879千円、営業利益は136,253千円、経常利益は146,013千円、中間純利益は95,658千円となりました。

なお、当社はオンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当中間会計期間末における流動資産は1,811,109千円となり、前事業年度末と比較して48,709千円の増加となりました。これは主に仕掛品の増加39,617千円、売掛金及び契約資産の増加26,673千円があったものの、現金及び預金の減少43,505千円によるものであります。

（固定資産）

当中間会計期間末における固定資産は1,044,058千円となり、前事業年度末と比較して120,905千円の増加となりました。これは主に有形固定資産の増加88,758千円、無形固定資産の増加23,510千円によるものであります。

（流動負債）

当中間会計期間末における流動負債は942,716千円となり、前事業年度末と比較して122,832千円の増加となりました。これは主に買掛金の増加94,616千円、賞与引当金の増加37,805千円によるものであります。

（固定負債）

当中間会計期間末における固定負債は281,110千円となり、前事業年度末と比較して49,958千円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少49,904千円によるものであります。

（純資産）

当中間会計期間末における純資産は1,631,341千円となり、前事業年度末と比較して96,740千円の増加となりました。これは主に中間純利益の計上95,658千円による利益剰余金の増加によるものであります。

（3）キャッシュ・フローに関する説明

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は818,980千円となり、前事業年度末と比較して43,505千円の減少となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、161,563千円（前年同期は262,035千円の獲得）となりました。

これは主に、税引前中間純利益146,013千円、仕入債務の増加額94,616千円、減価償却費84,689千円があった一方で、主にキャッシュ・フロー減少要因としてその他の流動資産の増加62,515千円、法人税等の支払額58,502千円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、147,336千円（前年同期は290,596千円の使用）となりました。

これは主に、工場の機械装置の積極的な設備投資による有形固定資産の取得による支出113,585千円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、57,732千円（前年同期は123,445千円の獲得）となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出49,087千円があったことによるものです。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間における業績は、概ね当初計画どおり推移していることから、2024年12月期の業績予想については、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	862,485	818,980
売掛金及び契約資産	455,614	482,288
商品及び製品	108,511	82,196
仕掛品	35,938	75,555
原材料及び貯蔵品	158,027	147,505
その他	142,505	205,016
貸倒引当金	△683	△434
流動資産合計	1,762,400	1,811,109
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	395,520	417,448
その他（純額）	315,365	382,196
有形固定資産合計	710,885	799,644
無形固定資産	67,918	91,428
投資その他の資産	144,349	152,985
固定資産合計	923,153	1,044,058
資産合計	2,685,553	2,855,168
負債の部		
流動負債		
買掛金	225,932	320,549
1年内返済予定の長期借入金	97,321	98,138
未払法人税等	69,048	66,854
賞与引当金	-	37,805
商品保証引当金	14,083	9,558
資産除去債務	1,389	-
その他	412,110	409,810
流動負債合計	819,884	942,716
固定負債		
長期借入金	249,278	199,374
資産除去債務	38,693	48,019
その他	43,097	33,716
固定負債合計	331,068	281,110
負債合計	1,150,953	1,223,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,222	302,763
資本剰余金	476,456	476,997
利益剰余金	756,029	851,687
自己株式	△107	△107
株主資本合計	1,534,600	1,631,341
純資産合計	1,534,600	1,631,341
負債純資産合計	2,685,553	2,855,168

（2）中間損益計算書
（中間会計期間）

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自 2023年5月1日 至 2023年10月31日）	当中間会計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）
売上高	3,286,330	3,384,879
売上原価	2,045,881	2,132,965
売上総利益	1,240,449	1,251,913
販売費及び一般管理費	946,070	1,115,660
営業利益	294,379	136,253
営業外収益		
受取手数料	600	—
固定資産受贈益	—	10,554
その他	893	797
営業外収益合計	1,493	11,351
営業外費用		
支払利息	1,722	1,564
支払手数料	651	—
その他	124	26
営業外費用合計	2,498	1,591
経常利益	293,374	146,013
特別損失		
固定資産除却損	7,007	0
特別損失合計	7,007	0
税引前中間純利益	286,366	146,013
法人税等	92,456	50,355
中間純利益	193,910	95,658

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	286,366	146,013
減価償却費	98,491	84,689
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	207	△249
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,575	37,805
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△667	△4,525
支払利息	1,722	1,564
固定資産除却損	7,007	0
固定資産受贈益	—	△10,554
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△164,222	△26,673
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△53,435	△22,524
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△57,049	△62,515
仕入債務の増減額 (△は減少)	86,648	94,616
前受金の増減額 (△は減少)	△6,273	16,885
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	32,790	△27,741
その他	27,945	△5,164
小計	264,107	221,626
利息の支払額	△1,809	△1,565
法人税等の支払額	△214	△58,502
その他	△47	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	262,035	161,563
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△255,148	△113,585
無形固定資産の取得による支出	△16,182	△28,886
敷金及び保証金の回収による収入	2,432	1,000
敷金及び保証金の差入による支出	△21,698	△5,087
資産除去債務の履行による支出	—	△777
投資活動によるキャッシュ・フロー	△290,596	△147,336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△64,024	△49,087
リース債務の返済による支出	△13,395	△9,727
新株予約権の行使による株式の発行による収入	899	1,082
その他	△33	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,445	△57,732
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,884	△43,505
現金及び現金同等物の期首残高	679,539	862,485
現金及び現金同等物の中間期末残高	774,423	818,980

（4）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率等に乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前中間会計期間（自 2023年5月1日 至 2023年10月31日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間（自 2024年1月1日 至 2024年6月30日）

当社は、オンデマンドプリントソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。